

い し づ ち

ISHIZUCHI

Vol. 36 2025



愛媛県留学生等交流推進会議

Ehime Prefecture Committee for the Promotion of
International Student Exchange

CONTENTS

令和7年度愛媛県留学生等交流推進会議総会を開催	2
令和7年度愛媛県留学生等交流推進会議講演会を開催	3
留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2025 を開催	5
受賞者スピーチ	8
その他参加者スピーチ	16
推進会議構成団体が主催又は後援した国際交流事業	26
愛媛県内高等教育機関における外国人留学生受入状況	32
その他の統計・資料について	34
愛媛県留学生等交流推進会議規約	35
愛媛県留学生等交流推進会議構成員名簿	37
愛媛県留学生等交流推進会議運営委員会委員名簿	38

令和7年度

愛媛県留学生等交流推進会議総会を開催

令和7年9月5日（金）、令和7年度愛媛県留学生等交流推進会議総会を開催しました。

はじめに、文部科学省高等教育局参事官（国際担当）付参事官補佐・留学生交流室室長補佐より、「留学生政策をめぐる現状と取組」についてご説明いただきました。

会長の仁科弘重愛媛大学長からの挨拶の後、審議事項では、愛媛県留学生等交流推進会議規約の一部改正について、令和6年度の決算報告、令和7年度の事業計画と収支予算案、会報「いしづち」の発行及び愛媛大学国際連携推進機構ウェブページへの掲載について原案どおりご承認いただきました。

令和7年度の事業計画の中では、留学生の受入れに係る他県の先進事例をお話しいただける有識者等を招いてのセミナー開催の提案がありました。

次に、報告事項として、「第22回留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2025」の実施概要説明があり、企画・運営の南海放送株式会社より、近年ではインターネットで世界に発信するなどの工夫をこらしており、たくさんの方に視聴いただきたいとの案内がありました。

その後、出席いただいた機関・団体等から、国際交流事業の現状、今後の取組などをお話しいただきました。

今後も本会議を通じて、関係機関が連携し愛媛県の国際交流活動の活性化に寄与するとともに、国際交流の更なる推進に向けた取組が発展していくことを期待いたします。



令和7年度

愛媛県留学生等交流推進会議主催講演会を開催

令和8年3月26日（木）、令和7年度愛媛県留学生等交流推進会議主催の講演会を開催しました。この講演会は、令和7年9月5日（金）に開催された総会にて、開催の提案があったものです。

はじめに、会長の仁科弘重愛媛大学長からの挨拶の後、2名の講演者から講演いただきました。

群馬大学大学教育・学生支援機構教授であり、内閣府「外国人との秩序ある共生社会」有識者会議構成員の結城恵氏からは、「地方が共創して挑む外国人材定着戦略―「秩序ある共生社会」と持続可能な地域づくり―」をテーマに、大学・企業・地域社会が共創して取り組む外国人材循環モデルの事例を紹介し、持続可能な地域戦略の方向性を提示いただきました。

徳島県経済産業部産業創生・大学連携担当主任主事の松井涼哉氏からは、「『オール徳島』による外国人支援の実践モデル」をテーマに、徳島県と県内高等教育機関が連携し推進している外国人支援の取組について、自治体主導の実践事例をご紹介いただきました。

対面・オンラインでの参加者は60名以上にのぼり、講演後の質疑応答では、参加者からの質問に対し、講演者から丁寧な回答がありました。

閉会にあたり、副会長の光信一宏愛媛大学理事・副学長からの挨拶がありました。

開催後に実施したアンケートには、「群馬大の取組をプログラムの内容にも踏み込んでもっとお話を聞きたいと思いました」、「徳島の県主導の定着促進事業は非常に参考になり、担当者の熱意が感じられました」などの感想が寄せられました。



地方が共創して挑む外国人留学生・人材定着促進について — 共生社会の実現と持続可能な地域戦略の在り方を考える —

3.26 (木) 13:00~14:30 (受付12:30~)

本講演会では、国の政策動向および他地域の活動事例を共有するとともに、愛媛における外国人留学生・高度外国人材の定着を実現するための具体的方策について、産官学民の視点から意見交換を行い、共創による地域モデルの構築を目指します。

形式

- **対 面**：愛媛大学城北キャンパス
E.U. Regional Commons 3階
トヨタカローラ愛媛みらいLAB
- **オンライン**：Zoomによるオンライン会議

申込

<https://forms.office.com/r/7F80vJ9v7J>



参加者にZoomのURLをお知らせいたしますので、事前にお申込みください。

ご案内

会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



開会挨拶

愛媛県留学生等交流推進会議会長
愛媛大学長 仁科 弘重

講演①

地方が共創して挑む外国人材定着戦略
— 「秩序ある共生社会」と持続可能な地域づくり —



結城 恵 氏

群馬大学 大学教育・学生支援機構 教授、キャリアサポート室長
(兼任) 情報学部・情報学研究科 教授

内閣府「外国人との秩序ある共生社会」有識者会議構成員

講演②

『オール徳島』による外国人支援の実践モデル



松井 涼哉 氏

徳島県 経済産業部 産業創生・大学連携担当 主任主事

開会挨拶

愛媛県留学生等交流推進会議副会長
愛媛大学国際連携推進機構長
光信 一宏

主催・愛媛県留学生等交流推進会議

お問い合わせ

愛媛大学国際連携支援部国際連携課
総務企画チーム



089/927-9162



kokugaku@stu.ehime-u.ac.jp



留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2025 を開催

令和7年12月21日(日)、南海放送本町会館において、「第22回留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2025」が開催されました。このコンテストは、県内在住の留学生を対象としたもので、今回で22回目です。

今年度は、県内の高等専門学校、短期大学、大学、大学院で学ぶ9の国と地域からの留学生15人がコンテストに出場しました。

コンテストの様子は、南海放送ラジオで生放送されたほか、南海放送のホームページから全世界にライブ配信されました。

出場した留学生たちは、母国と日本の違いや留学を通して得たもの、カタカナが持つ意味などを、ユーモアを交えながらスピーチし、会場は笑いと感動で包まれました。コンテストの回数を重ねるごとにスピーチのレベルが向上しており、審査は非常に難航しましたが、次のページのとおり、受賞者が決定しました。

出場者からは「スピーチコンテスト当日まで全く緊張していませんでしたが、自分の発表の順番になった途端、緊張してしまいました。この経験は、今後の日本語の勉強の励みになると思います」といった感想がありました。

コンテスト終了後は、出場者同士で記念撮影をしたり、出場者と審査員が交流したりする様子も見られ、出場者、観客、運営スタッフにとって記憶に残る一日となりました。

<審査員>

南海放送株式会社 新時代 FM 推進局 局長	松下 和明 氏
一般社団法人 えひめ日本語教育人材ネット 代表理事	三好 大助 氏
公益財団法人 松山観光コンベンション協会 事務局長	尾上 智子 氏
愛媛県観光国際課 国際交流員	ソ ジミン 氏



各賞の受賞者

最優秀賞

生きる力 カン・ニャー・トー〔松山大学 ミャンマー〕

優秀賞

情けは人のため？
アントニ・ギデオンの・サトリア・ウタラ〔弓削商船高等専門学校 インドネシア〕

佳作

私のバラ色の暮らし キルティガシニ・スندگان〔弓削商船高等専門学校 マレーシア〕
聞いてないよ！ ワッタナナンタパン・ピティパット〔弓削商船高等専門学校 タイ〕

南海放送賞

音楽と奏でる私 キエウ・ヴァン・チュオン〔松山大学 ベトナム〕

特別賞

昨日の自分を超越る幸せ トゥー・アウン・ライン〔今治明德短期大学 ミャンマー〕
試練は人生の筋力トレーニング ウ・ソヨプ〔愛媛大学 韓国〕

エフナン南海放送リスナー賞

生きる力 カン・ニャー・トー〔松山大学 ミャンマー〕
聞いてないよ！ ワッタナナンタパン・ピティパット〔弓削商船高等専門学校 タイ〕
情けは人のため？
アントニ・ギデオンの・サトリア・ウタラ〔弓削商船高等専門学校 インドネシア〕
試練は人生の筋力トレーニング ウ・ソヨプ〔愛媛大学 韓国〕

その他の出場者

憧れていなかった日本 マナカンチクル・シリラート〔新居浜工業高等専門学校 タイ〕
自然にできるものは何もない キム・テジュン〔愛媛大学 韓国〕
文化の違いを経験して パキン・パンヤスリヴァロン〔新居浜工業高等専門学校 タイ〕

顔を上げたら、世界が広がった

エンフトゥフシン・バトボルド〔弓削商船高等専門学校 モンゴル〕

日本で失くしたものを、見つけたもの

レイ・ゲツセイ〔愛媛大学 中国〕

カタカナのない世界で生きるとしたら

チン・ジュンホウ〔愛媛大学 中国〕

犬との絆

セツサムパン・リンラダ〔新居浜工業高等専門学校 タイ〕

同じ檻に、違うライオンは共に生きられるのか？

ヒアン・シククトング〔弓削商船高等専門学校 カンボジア〕

幸せ者

ス・モン・チョー〔愛媛大学 ミャンマー〕



エフナン
南海放送リスナー賞



生きる力

カン・ニャー・トー 松山大学【ミャンマー】

みなさん、こんにちは。

私はミャンマーで生まれ育ち、2年前から日本に留学しています。最近、ミャンマーではさまざまな問題が起きていますが、昔のミャンマーは本当に平和な国でした。政治も経済も比較的安定しており、私の家庭も豊かで、安心して生活することができていました。両親は、私の進路について、しっかりと計画を立ててくれており、私はその道を歩むだけで人生は順調に進んでいくように感じていました。そのような恵まれた環境の中で、私に求められていたのはただ一つ、勉強だけでした。何も考えずに勉強に集中できることは、とても幸せなことだったと思います。また、私は子どものころから勉強が得意で、成績も悪くありませんでした。親や先生からも常に「勉強が一番大事」と教えられて育ち、「勉強ができれば将来は安心だ」と信じて、疑うことはありませんでした。

しかし、それは高校までの話です。大学に入学した頃、国内で戦争が起こりました。多くの学生が政府に反対して抗議活動を行い、社会人も仕事をやめて抗議に参加しました。人々は経済的に政府を追い詰めようとしたのですが、結局大きな成果は得られませんでした。かつて平穏だった人々の生活も、経済も、教育も、すべてが一変してしまったのです。そんな中、私は留学を決意しました。両親も賛成してくれ、昔から憧れていた日本へ来ることになりました。

日本での生活は、私にとって初めての一人暮らしで、最初は毎日が混乱の連続でした。日本に来るまで、私は海外旅行すらしたことがなく、空港から一人で電車に乗ること、自分の住む部屋を探すこと、役所で手続きをすること、銀行口座を開くこと…。どれも初めてで、不安でいっぱいでした。特にコンビニでのアルバイトは私が社会と関わる最初の経験でしたが、それがいきなり外国というのは思った以上に大変でした。接客のマナーや言葉遣い、日本のお客さんの習慣を全く理解できず、何度も失敗しました。注意されたり、周りに迷惑をかけたりして、最初はとても落ち込みました。そのとき、私は、「教科書に書いてある知識だけでは、生きていけないのだ」と痛感しました。しかし、一つ一つの経験を重ねる中で、私は少しずつ自分に自信をつけていくことができました。

あれから2年間、私はたくさんの日本人の友達に恵まれ、松山大学で経済学を学んでいます。子どものころから興味があったダンスも、スクールに通ったり大学のサークルに入ったりして、本格的に取り組むことができています。大学に入ってからは、授業だけでなく、友達との時間やサークル活動、人とのつながりからも多くのことを学びました。

日本での様々な経験を通して、私は一人で「生きる力」、つまり自立の大切さを学びました。勉強はもちろん大事です。知識を持つことは大きな強みになります。しかし、それだけでは十分ではありません。知らない国で、知らない人と出会い、知らない社会の中で生きていくためには、自分で考え、自分で行動する力が重要です。誰かに守られるのを待つのではなく、自分で問題を解決し、道を切り開いていく力こそが、人生を

支える基盤になるのだと思います。

少しずつですが、私は自立した大人へと成長しています。

ご清聴ありがとうございました。



エフナン
南海放送リスナー賞



情けは人のため？

アントニ・ギデオン・サトリア・ウタラ 弓削商船高等専門学校【インドネシア】

留学生の皆さん、もし日本の日常生活を紹介するとしたらどんな説明をしますか？ おそらく、それは「日本は安全だ」とか、「交通機関が便利」、「街並みがきれい」とか、思い浮べることでしょう。確かに、私もすごく理解できます。私は中学の三年間を隣の香川県で過ごしました。社会全体で時間厳守、お互いを尊重し合う文化など、そういったところが私の目にはまがしく映りました。そんなきちんとしていることを誇った日本社会の中に生活した私に、ある不思議な現象が起きています。

一年前のある日。東京で外食から一人で帰ろうとしていました。夜の 9 時頃に雨が降りはじめ、傘を忘れていることに気がつきました。寮が閉まる時間まであと 1 時間。でも雨はまだ止みません。タクシーを呼ぼうと思って、財布の中を覗いてみました。すぐに諦めました。千円札が 1 枚あるので傘ぐらいいは買えるだろうと思ったのですが、ここ半年でなくしてしまった傘はもう 4 本。もったいない。そこに、奇跡のように目の前にあるものが現れました。レンタル傘です。アプリで登録すれば箱に用意されている傘がすぐ借りられる。なんとありがたい！私は傘をレンタルして、これで無事に帰る…ことはできませんでした。スマホの画面に目を落とすと、バッテリー切れ。なんで今なの？と、顔をあげると、まるでスポットライトに照らされているように、目の前にレンタルモバイルバッテリーのスタンドが現れました。本当に救われました！へえ、さすが日本だなあって。こんな忘れん坊の私に次から次に救いの手を差し伸べてくれます。実際、街中ではいろんなレンタルがあるのに気付きました。例えば、電動スクーター、ポケット wifi、レンタルスペース… 畳… こたつ？そして、まさかの飼い猫レンタル？からお墓参り代行まで？もうスマホ一台と電子マネーさえあれば、相当のうっかり屋さんでもなんとか日本では無事に生きていけます。だから、日本人にならってしっかりやろうと思っていたのに、逆に忘れ物が増えてしまったのです。

今年の夏、私はインドネシアに帰りました。今回はお土産や服、パソコン、充電器、パスポート、財布など、忘れ物がないようにしっかりチェックしました。すると今度は、準備が行き過ぎて、空港についたら荷物が 10 キロもオーバーしてしまいました。そう困った私の前にまた… 現れたのです。今度は宅配カウンターでした。重たい服だけを寮に送り返して、私は無事、インドネシアに帰ることができました。

このように、日本でレンタル文化とサービス業が大きく発展しているのは、みんながお互いのことを思いやり、信頼し合っている社会だからこそできるのだと思います。あることわざがぴったりだと思いました。

それは「情けは人の為ならず」。その意味は、人に情けをかけたり、人にやさしくすると、いずれそのやさしさが自分に返ってくる。というものです。自分自身のこの有り様を見て、そのことわざ、私にはちょっと違って感じます。このやさしさは本当に私のためになってる？こんなに優しくされたら、私のためにはならず。私は世界一の忘れん坊、世界一のうっかり屋さんになってしまうだけなのでは。「情けは人のためならず」。みなさんにとって、本当の意味はどちらだと思いますか。

佳作



私のバラ色の暮らし

キルティガシニ・スンドル 弓削商船高等専門学校【マレーシア】

こんにちは。今回はスピーチコンテストに参加する機会を頂き嬉しいです。

私は、日本に来るまでは、まるでモノクロームの世界に生きているようでした。日本に来ればバラ色の生活が始まると思っていました。日本の空港に到着した時、窓から見えるキラキラした光、挨拶の声、空気に混じるラーメンの匂い。“やったー！これからの人生は幸せだ”と思いました。

東京から愛媛に移動を始めました。今、日本で、目的地に向かって電車に乗っている！自分を誇りに感じていました。でも、それは実は私が逆方向の電車に乗っていることに気がつくまでの話です。一時間ぐらい同じ路線を行ったり来たりしていました。それでも私は電車の乗り方を知っているみたいに平気なふりをしていました。なんとか広島まで着き、学校から迎えに来てくれた先生と会うことができました。歩き続けた足が悲鳴をあげていました。汗で濡れたシャツと疲れ切った私の顔を見た先生が、電車に乗るのに何か困ったことがありましたか？“いいえ!!!いいえ!!!全然大丈夫です”。涙が溢れるのをぐっと我慢していました。

家族から離れて一人暮らしの生活は冒険の連続です。寮の部屋は持ってきたスーツケースみたいにコンパクトです。台所は両方の腕を伸ばしたら、届くほど小さかったです。初めて、日本製の炊飯器を使い、ご飯を作ろうと思いました。しかし、ボタンはすべて漢字でした。スタートボタンを恐る恐る押してみました。すると、びっくりするほど大きく変な音がして動き始めました。胸がドキドキして、“お願い。爆発しないで”とお祈りしたまま、10分間動けずにいました。おそうじモードのボタンでした。

スーパーの買い物も難しかったです。マヨネーズと思い、ヨーグルトを買ってしまいました。作ったサンドイッチはものすごく甘かったけど、食べ物を無駄にすることは犯罪行為のように扱われる日本だと聞いていたので、笑えばいいのか泣けばいいのか、とにかく全部食べました。

そんな中、美しい瞬間もありました。学校のまわりに桜が咲き始めました。まるで絵画の世界に入り込んでしまったようでした。しばらく桜の木の下に立っていました。今までの起きた出来事を振り返っていました。失敗の中でも、日本でできた新しい友達はみんなとても親切でした。間違った日本語で話しても、笑いながらいつも助けてくれます。

ある夜、近くのコンビニへおにぎりを買いに行きました。涼しい風が吹き、静かな道を歩いていると、な

んとなく気持ちが落ち着きました。真っ暗な広い空を眺めました。だんだん学び、成長し、強くなっていることに気づきました。

部屋に戻って、母にメッセージを送りました。“お母さん！元気だよ!!!”。画面を閉じる間もなく、すぐに母の返事が来ました。“もう食べたの？”なんでわかったの？大きな声で笑いました。

家族がみんなと一緒に歩いているのを見たり、タミル語の音楽を聞いたときなどは、自分の家族のことを思い出し、ホームシックになります。でも、いつも私のそばには家族がいます。今まで色のない世界にいたのに、日本に留学することで、私の暮らしはバラの花が少しずつ咲き、いい香りがするようになってきました。日本には日本を愛させる魔法があるように思うのです。

佳作

エフナン
南海放送リスナー賞



聞いてないよ！

ワッタナナンタパン・ピティパット 弓削商船高等専門学校 【タイ】

私はタイにある高等専門学校から、弓削商船高等専門学校にやって来ました。日本への特別留学コースで、日本に来るために一生懸命勉強しました。授業でも家でも、毎日日本語を勉強していました。さらに、日本の沖縄高専の先生と学生がタイに来て、日本語や文化、教科書に載っていない面白い話もたくさん教えてくれました。

私は「OK、もう完璧だ！」と自信满满で、今年4月、日本にやって来ました。……でも、実際に来てみると、「え？なんで？」と思うことがたくさんありました。今日は、その中でも特に「日本語って本当に不思議だな」と感じることを話したいと思います。

まず驚いたのは——パソコンのキーボードです。皆さん、パソコンに日本語をどうやって入力しますか？日本語のキーボードには、ひらがなが書いてありますよね。例えば、数字「1」のキーには「ぬ」、アルファベット「A」のキーには「ち」が書いてあります。私はてっきり、日本人はこのひらがなのキーを使うのだと思っていました。

しかし、友達が「ohayou」とローマ字で打って「おはよう」に変換しているのを見て、「え？ひらがなのキー使わないの？」と聞いたら、「使ったことないよ、どこにどのひらがなのキーがあるのか全く知らないよ」と言われました。私は「えっ、そこも知らないの！？」と本当にびっくりしました。タイはタイ文字のキーで、英語はアルファベットのキーで入力します。でも、その一方で、スマホで日本語を入力するとき、みんなはひらがなのキーボードを使いますね。

次に驚いたのは漢字です。日本語にはたくさんの漢字がありますね。私は「日本人なら全部読める、書ける」と思っていたのですが、そうではありませんね。

例えば、地名、駅名、神社やお寺の名前など、日本人でも読めない漢字がたくさんあります。私は先生に日本の地図を見せたとき、先生が「これなんて読むんだろう？」と言っていました。私は心の中で、「地図も住

所も駅名も全部漢字ばかりで、フリガナもなく、読み方がたくさんあるのに、どうやって生活しているの！？郵便は届くの？地図は読めるの？」と本当にびっくりします。

人の名前も同じです。日本に来たばかりのころ、友達の名前が読めなくて先生に聞いたら、「あれ？なんて読むんだっけ？」と先生が調べました。授業でチームを作るときにも、みんなお互いの名前の漢字が分からなくて「自分で名前を書いてください」と言われて、一人ずつ書いていきました。そして私の番で「ディウ」とカタカナで書くと、みんなが「簡単だよな！いいなあ！」と笑ってくれました。

私は、「漢字を読めない、書けないのは大問題じゃないか？日本、どうなってるの！？」と思いましたが、日本人はそんなことを気にせず、毎日ハッピーに暮らしていますね。読めなくても、書けなくても、みんな平気です。私はその姿を見て、「日本人って本当にすごい！」と思いました。

これは日本語の難しさですが、同時に日本の魅力の一つです。これからも日本語を学びながら、日本の「なんで？」をたくさん見つけて、楽しんでいきたいと思います。ありがとうございました。

南海放送賞



音楽と奏でる私

キエウ・ヴァン・チュオン 松山大学【ベトナム】

皆さん、こんにちは。

皆さんの趣味は何ですか？

私の趣味は音楽です。そして、その音楽のおかげで私は日本を知り、さらにその音楽を追いかけた結果、今ここにいます。

私は物心がついた頃から、音楽が大好きでした。

落ち込んでいるとき、嬉しいとき、悲しいとき——どんなときでも、音楽は私のそばにいてくれました。

よく晴れた朝に心を弾ませる音楽、落ち込む暗い夜に私を包み込むような音楽、言葉にできない複雑な思いを受け止めてくれる音楽。音楽は、私にとって古くから私を良く知る、唯一無二の友人のような存在です。

高校時代、私は初めて聴いた日本のポップスとロックに心から魅了されました。歌詞の意味はわからなかったのですが、そのメロディや歌声から感じる感情の深さと繊細さには惹かれるものがありました。そして、その歌詞の意味を知りたくて、私は日本語を勉強し始めました。今思えば、それが日本留学への最初の一步でした。

日本留学の決め手となったのも、音楽でした。高校卒業後の進路があまり見えず、将来は何をしたいか、進路も、夢も、漠然としていましたが、「ONE OK ROCK」というバンドの音楽を聴いたとき、私は心を強く揺さぶられました。「諦めない」「自分を信じる」という歌詞で、私の心にある「迷い」や「ためらい」が吹き飛

ばされ、気が付いたら、私は日本への留学を決意していました。そして、私の中にはっきりと一つの夢が生まれたのです。「日本で ONE OK ROCK を生で観る」——という夢でした。

今年の夏、私はついにその夢を叶えました。ベトナムにいた高校時代に抱いた夢が、時間と場所を超えて、実現したのです。ここに辿り着くまで、語りつくせないほどの出来事を経験して、いくつもの困難を乗り越えてきたのですが、ONE OK ROCK の生の歌声を聞いた瞬間、全てが報われたような気がしました。

ライブ当日、照り付ける太陽のもと、私は完全燃焼しました。会場に一歩足を踏み入れた瞬間から、音の波に体を包まれ、私はまるで夢を見ているようでした。会場は歓声と震える低音が混じっていて、私は胸が高鳴るのを感じながら、人々の熱気に圧倒されました。拳を掲げ、足でリズムを取り、心拍とビートがシンクロするような中、体全体に音楽が走るような体験でした。そして、バラードが始まると、私はその歌声に涙が止まりませんでした。

「音楽は素晴らしい」、今まで何度も思ったことですが、その時ほど強く実感したことはありませんでした。ライブが終わる頃には、汗と興奮が入り混じり、私の全てが浄化されたような感覚でした。そして、それは私だけではなく、ライブ会場にいるみんなに共通しているようでした。音楽は、年齢も性別も国籍も越えて人々を結び付ける力があることを実感し、私は音楽の凄さを改めて思い知りました。

私にとっての音楽は日常の中の「小さな支え」であり、また未来への「大きな希望」です。これからも、音楽と共に歩みながら、豊かな未来を夢見て、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

ご清聴、ありがとうございました。

特別賞

昨日の自分を超える幸せ

トゥー・アウン・ライン 今治明德短期大学【ミャンマー】



突然ですが、皆さんにとっての幸せは何ですか？

目標を達成したときや、愛する人と時間を過ごすときや、人によって答えは違うでしょう。

私にとっての幸せを一言で言えば、それは 昨日の自分を超えたときです。

今日は、そのために私が大切にしている3つのこととお話したいと思います。

1つ目は、未来を心配しすぎないことです。

初めてオンラインで古着販売を始めようとしたときのことです。

「失敗したらお金が全部なくなるかも…」と不安ばかりが浮かんできました。そのとき、母が言った言葉を今でも覚えています。「服は果物じゃないから、売れなくても腐らないよ。誰も買わなかったら、自分で着ればいいじゃない！」

私はその言葉に気が楽になって、思い切って始めることができました。続けていくうちに人気も出て、「次はいつですか？」と聞いてくれるお客さんまで現れるようになりました。

昨日の私は未来を怖がっていましたが、今日の私は一步を踏み出し、その中に幸せを見つけました。

私が大切にしていることの2つ目は、過去に囚われないことです。

高校生のとき、英語スピーチコンテストで1点差で負けてしまった私は、自信を失い「もう二度と出場ない」と決めました。そんなとき英語の先生が私に言いました。

「一度の失敗で未来を閉ざすのはもったいない。大事なことは昨日より今日をどう生きるかだよ。」

その言葉にハッとしました。昨日の私は「負けた自分」に縛られていましたが、今日の私は「挑戦する自分」を選ぶことができます。負けた過去の自分を超越することで、強くなれた気がします。

私が大切にしていることの3つ目は、自分らしく生きることです。

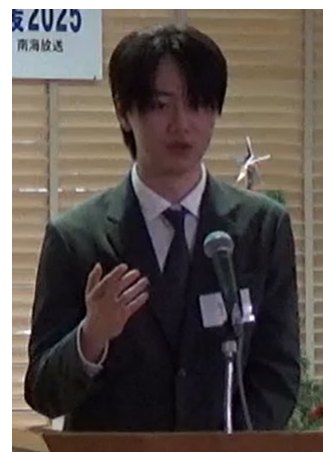
ミャンマーで英語のボランティアイベントに参加しました。

そのとき、個人的なことについて英語で質問されました。知らないことに知っているふりをして、好きではないことも、つい「好きです」と答えてしまったのです。なぜなら、みんなに合わせたい。認められたい。そんな気持ちで嘘をついてしまいました。でも、後で、「なぜ本当のことを言えなかったのか。」と後悔し始めました。昨日の私は、みんなに合わせるために自分を偽っていました。でも、正直でいようと決めた今日の私は、ありのままの自分を誇れるようになりました。昨日よりも自由で、幸せな自分に近づけたのです。

人生を山登りに例えるなら未来を心配しすぎないことは、山登りでなくてはならない基本の靴。過去を悔やまないことは未来へ行くためのコンパス。そして自分らしく生きるとは、頂上で息をする、まさに満足感を得るための空気です。将来を夢見ない、過去に捉われない、自分らしく生きる、この三つを心がけるだけで、私は昨日より少しだけ強く、優しくなれた気がします。今日ここで話したことが、皆さんの心に少しでも響き、明日からの毎日が少しでも豊かになれば嬉しいです。ご清聴、ありがとうございました。

特別賞

エフナン
南海放送リスナー賞



試練は人生の筋力トレーニング

ウ・ソヨプ 愛媛大学【韓国】

「私を殺さないものは、私を強くする。」

これはドイツの哲学者、フリードリヒ・ニーチェの言葉です。

このフレーズをどこかで聞いたことがある、という方も多いのではないのでしょうか。

私は今から6年前、まだ平成だった2019年に愛媛大学に入学しました。そこから1年、やっと日本生活に慣れてきたなと思っていたらコロナウイルスが世界から日常を奪いました。授業はオンラインになり、外部活動は制限され、留学にきた意味を失っていく時間でした。誰もがつらい思いをした時期ですが、私にとって何よりも耐えられなかった事実は、いつ家族に会えるか分からないということ。兵役義務を果たすために軍隊に入隊しないといけない事実でした。

コロナが続いて約2年、いつ終わるか分からない状況で、軍隊に入隊することを決めました。人生で一番

輝くはずだった私の 20 代前半を、コロナ 2 年、兵役 2 年、合計 4 年無駄になってしまうという事実はどうしても受け入れられないものでした。韓国に戻る準備をしながらひたすら精神的に追い込まれていたある日、お父さんからの電話がありました。私が日本にきて一回も電話をしてきたことがないお父さんなので、嫌な予感がしました。“もしもし”、お母さんが病気になったと、しかもかなり進行された状態だと。

「私を殺さないものは、私を強くする。」そのカオスの中、どっかで見たニーチェの言葉。私は思いました‘これが真理だ’ いや、真理だと思わざるを得なかった。ニーチェはただ試練に耐えろと言っているわけではありません、大事なのは試練に立ち向かう態度、心構えだと。

私なりに解釈してみたところ、痛み、苦しみ、苦難、試練、そのもの全てが人生の筋力トレーニングだと思いました。ジムに行って一生懸命トレーニングをすると、筋肉に細かい傷ができます。十分休んで、栄養をしっかりと取れば、その傷の回復と共に筋肉はもとより大きくなります。トレーニングはしんどいです。痛いですが、その先には成長した体が必ず待っている。コロナ、兵役、家族の病気、その向こうには必ず成長した俺が待っている。

私はまだ何も成し遂げたことのない、ただの学生です。皆さんの前で試練は絶好の成長チャンスです！と偉そうに語っていますが、正直まだ自分の目で本当に自分が成長できたのか確かめてもありません。逆にこれを聞いている皆さんの中の誰かに‘こういうもんだよ’と教えていただく必要があるかもしれません。

しかし、ここで皆さんの前でスピーチすることで、必ず成長して見せると公言し、責任を持って必ず成長してみせると思っています。そして、その私の話を聞いて、一緒に試練に前向きに立ち向かう仲間が一人でも出来たら、それだけでこのスピーチに十分意味があったと言えるのではないのでしょうか。

最後に、ニーチェの言葉を借りて締めくくらせていただきます。

怖いか？ ならば、もっと深く飛び込む勇気を持つときだ。

不安か？ ならば、最後まで行けるチャンスを手にしたのだ。

ご清聴ありがとうございました。



憧れていなかった日本

マナカンチクル・シリラート 新居浜工業高等専門学校【タイ】

私は、日本に憧れて来たわけではありません。でも、なぜでしょうか。日本に来る外国人の多くは、日本の魅力に惹かれて来ます。アニメや漫画が好きなのもいれば、日本語を勉強したい人もいます。日本の整った社会制度やインフラに魅力を感じる人もいるでしょう。しかし、私はアニメも見ず、日本語を勉強したいわけでもなく、日本の文化に特別な興味もありませんでした。日本に惹かれる要素は、ほとんどなかったのです。

日本に来る前、私は比較的競争の激しい学校で工学を学んでいました。慣れ親しんだタイ語と英語で勉強していたので、自分の力をすべて勉強と研究に注ぎました。そのままタイにいれば、エンジニアとして成長できたはずですが、日本に留学することは、むしろ自分のキャリアに新たな「障害」をもたらすだけに思えました。

それでも、私は日本が与えてくれる「価値」を見出しました。それは、まさに「障害」そのものの中にあっただけです。英語もタイ語も通じない環境に身を置くこと。親に頼らず自立して生活すること。そして、自分自身に挑み、もがくこと。これが、日本に来る意味でした。そして、日本は確かにその「もがき」を与えました。来たばかりの頃は、言葉が理解できませんでした。お風呂がどこにあるのか、どこで食事すればいいのかさえ分かりません。その後も、苦労は続きました。科学、数学、工学の専門科目では、内容の理解はおろか、先生の言葉すら聞き取れません。誰に相談すればいいか分からず、話したくても話せない。まるで口をふさがれているような日々でした。

しかし、時間が経つにつれ、少しずつ適応していきました。日本語を上達させ、授業についていけるよう努力しました。先生の板書をすべてノートに写し、翻訳アプリを使うのをやめ、知らない単語や漢字を一つ一つ調べ、文章を解説しました。馬鹿みたいに思われても、勇気を出して質問し、できるだけ会話するようにしました。まだ完璧ではありませんが、時間管理ができるようになり、勉強や研究、運動の時間を確保しつつ、映画やゲームを楽しむ時間も作れるようになりました。

さらに、予想もしなかった学びもありました。実は来日前は、日本に対して少し否定的な印象を持っていました。それは、海外で日本がしばしば理想化して語られているからです。「日本は、2050年を歩んでいる」「日本の子どもたちは、自ら教室を掃除する」そんな言葉をよく耳にしました。これらの言葉は嘘ではありませんが、裏では「日本は完璧な国だ」という幻想を生み出します。私はその暗黙の誇張が不誠実に思え、結果、日本に対する嫌悪感が強くなっていきました。しかし、日本で暮らし、成長した今、自分自身と向き合ううちに気づきました。私が嫌っていたのは日本ではなく、「外国人が作り上げた日本のイメージ」だったのだと。この気づきは、考え方や偏見を見つめ直すきっかけになりました。

今は、「本当の日本文化」を自分の目で見て、肌で感じています。日本語がうまく話せず迷惑をかけてしまうのではないかと不安でしたが、指導教員の先生は、日本語の拙さを「障害」ではなく、一緒に成長していく課題として受け止めてくれました。また、他校の先生方や学生たちと協力し合い、互いに敬意を持って接する姿を見てきました。完璧ではない——けれども、だからこそ、私はこの「現実の日本」を心から尊敬しています。それは、外国人が夢見る理想の日本よりも何倍も魅力的だと感じています。

振り返れば、私は「自分を鍛えるため」に日本に来ました。そして確かに挑戦し、成長できたことに、とても感謝しています。しかし、まったく予想していなかった最大の変化は、日本に対する嫌悪感が消え、代わりに深い尊敬と憧れの気持ちが生まれたことです。

自然にできるものは何もない

キム・テジュン 愛媛大学【韓国】



こんにちは。

私は韓国から愛媛大学に留学している金泰俊と申します。現在は3年生で、日本近代史を専攻として学んでいます。

本日は、スピーチのテーマである「自然にできるものは何もない」という言葉をもとに、スピーチさせていただきたいと思います。

私が留学生活を通して得た「最も大きな気づきは、『主体性の大切さ』です。」

高校までの教育では、与えられた課題をこなしたり、公式を暗記したりすることが中心でした。

しかし、大学ではまったく違うと実感しました。自分で学びの方向を定め、そのために必要な知識を調べ、分析や考察する姿勢が求められました。先生から与えられるものを待つのではなく、自分から学びをつくっていくことが必要だと実感しました。

この「主体性」は、勉強だけではなく、日常生活の中でも大切だと気づきました。

あたり前ですが、留学を始めた当初は、時間管理や掃除、料理など、すべて自分でやらなければならず、大変でした。しかし、そうした経験を重ねるうちに、「自分の生活を自分でつくる力」が身についたと感じています。

この経験により、成長はやりたいことよりも、やりたくないことの中にある、そう感じました。

この考え方は、学業の面でも、そして、人とのかかわりの中でも、私に大きな変化をもたらしました。つまり、困難や苦手を避けずに向き合うことで、少しずつ自分自身の主体性を養えると気づいたのです。

人間関係においても主体性が求められることを感じました。高校生の時は、同じクラスで毎日顔を合わせるうちに、自然に友達関係を築くことができました。けれども、大学ではそう簡単にできませんでした。最初は、誰に、どう話しかければいいのかわからず、授業も食事も一人だった日もありました。

しかし、待っているだけでは何も変わらないと思い、自ら声をかけてみるようにしました。ゼミや交流会では、勇気を出して自分の考えを話すことで、少しずつ友達も増え、周りとの距離が縮まっていきました。

そのなかで、特に印象に残っていることは、日本人ではなく、異なる国籍を持つ友達との交流です。最初は考え方の違いに戸惑うことも何度もありましたが、相手の話を丁寧に聞くことで、自分の視野も広がり、自分の考え方の偏りにも気づくことができました。相手を理解しようとする姿勢が自分の考え方や視野を広げるきっかけとなり、つまり、自分の成長とつながっていると感じた瞬間でした。

そして、このような経験を通じて1つの大きな教訓を得ることができました。

それは、「人生は『自然にできるもの』ではなく『自ら築いていくもの』」ということです。
勉強も生活も、人間関係も人生も、自然にできるものは何もありません。
だからこそ、自ら行動し、努力を積み重ねることで、初めて新しい道が切り開いていくのだと思います。
これからは、新しい環境で学びをさらに深めるため、県外の大学院に進学を考えています。
これからも、新しい環境や苦難避けて、挑戦しながら、主体的に自分自身を成長させていきたいです。
ご清聴、誠にありがとうございました。



文化の違いを経験して

パキン・パンヤスリヴァロン 新居浜工業高等専門学校【タイ】

皆さん、こんにちは。僕のニックネームはターです。タイから来ました。日本に住み始めて 6 か月です。今日は外国人にとって日本で難しいことについてのスピーチをします。

一番難しいのは日本語です。僕は 2 年半、日本語を勉強しましたが、今でも日本語がそんなに上手ではないです。理由の 1 番はタイ語では助詞がほとんどなく「は」「が」「に」くらいと少ないからです。例えば「牛乳を飲む」は、タイ語で「牛乳飲む」。このため日本語を勉強し始めたころは、助詞を忘れてたり、間違えたりして、作った文はいつも変でした。

次に、タイ語では動詞が変化しません。変化しないため、過去の出来事をタイ語で言うときは、普通、最初に時を表す言葉を入れます。それで「昨日学校に行った」と日本語で言いたいとき、間違えて「昨日学校へ行く。」と言ってしまうことはよくありました。

それから語順です。日本語では動詞を最後に置くけれど、タイ語は英語のように動詞を主語の後に置くから、頭の中で日本語の文を作るとき、母語が影響します。例えば「昨日学校に行きました」をタイ語で言ったら、「昨日行く学校」となる。

そして最後が発音です、タイ語は発音が多いので、日本語の発音はほとんどあります。タイ語でないのは「つ」と「zz」くらいの発音です。タイ人が初めて日本語を話すとき「sss」がちょっと言えないと思います。例えば「と思います。」は「と思いま[d]」となります。

発音に関する一番の問題はイントネーションです。タイ語にはイントネーションがない。例えば、「質問がありますかー？ ↑」は、タイ語で「質問がありますか ↓」だから、イントネーションを付けて話すときは意識的にしないといけないので大変です。さらに日本語では「そうですか？」の疑問のイントネーションでも、「そうですか。 ↓」と発音すれば、「わかった」と納得した意味に変わります。この事実を知ってからは、特に話の最後まで聞き逃さないように気を付けるようになりました。

文字については、タイ語は英語のアルファベットのように 1 種類しかありません。だから、漢字を覚えることが大変です。よくある問題は、この漢字の意味がわからないとか、意味がわかるけど発音がわからないと

か、こういう問題はいつも起こっています。僕は物覚えが悪いから大変ですが、漢字を覚えるのは大切だと分かっています。

それから、日本での生活の問題も多いです。1 番はごみの分別です。タイでゴミを分別することはそんなに厳しくないです。ゴミ箱の種類は 4 つです。リサイクルゴミ、普通ゴミ、生ゴミ、危険ごみ。タイにはないゴミ箱の種類は燃えるゴミやペットボトルゴミです。でも、分別は慣れれば悩まなくなります。

もちろん文化の違いもあります。実は留学前に 5 回日本に旅行したことがあるし、よくアニメを見ていたから、日本のことは大体わかると思っていました。でも実際に暮らしてみると、わからないことも多くて驚いています。タイの生活と日本の生活は違いもあるけど、似ているところもあります。例えば箸を使う文化は同じです。日本はお米も箸を使って食べる。でも、タイで箸を使うのは麺類を食べるときだけです。お米を食べるとき、箸を使いながら「スプーンを使えばいいのに」と心の中で思ってしまいます。こういう時、タイ人は「まっ、いいか」とすぐ気持ちを切り替えられます。何か問題が起こっても、感情的になるのではなく、「平気、問題ない。」「明日考えよう。」と思えば、ストレスも少なくなります。

僕は今年 5 月から日本に住んでいます。いろいろなことを学びました。日本語の未熟さと文化の違いからわからないこともありましたが、どれも新しい体験でした。一つ一つの経験を積み重ねて、時には間違えたり、やり直したり。でも、そのすべての経験が忘れないものになりました。



顔を上げたら、世界が広がった

エンフトゥフシン・バトボルド 弓削商船高等専門学校【モンゴル】

みなさん、歩いているとき、どこを見ていますか？ ついつい、スマホの画面ばかり見ていませんか？ モンゴルにいたころ、私はよく散歩をしていました。でも、ただ歩くだけでつまらないので、スマホで本を読んだり、SNS を見たりしながら歩くのが習慣になっていました。そして日本に来てからも、その習慣はなかなか変わりませんでした。

変化が起きたのは、ある朝、学校へ行くときのことで。いつものようにスマホを見ながら歩いていると、ふと、右側からまぶしい光が目に入ってきました。顔を上げると、そこにはキラキラと輝く青い海がありました。その光があまりにまぶしくて、ふと反対の左側に目を向けると、今度は緑の木々が目に入りました。そこから、風に揺れる葉っぱの、サラサラという優しい音が聞こえてきたのです。「えっ…ここ、こんなにきれいだったの？」私は思わず立ち止まり、スマホをポケットにしまいました。

それからは、スマホを見ずに歩くようになりました。空の青さ、走る自転車の音、学生たちの楽しそうな声、そして、海の香り。目や耳だけでなく、体の全部で世界を感じるようになったのです。海も毎日同じではありません。とても暗い灰色の海に、白い波が立って不気味な日もありました。

そして去年の夏休み、久しぶりにモンゴルに帰りました。すると、「街そのもの」がすっかり変わっているこ

とにととても驚きました。新しい道、新しい店、きれいな建物…。ほんの2年離れていただけです。10年以上も毎日歩いていた道が、まるで別の場所のように生まれ変わっていたのです。「えっ、本当にここがあの道？」と、何度も地図アプリで確認したほどです。

でも、よく考えてみると、それは街が急に変わったからだけではありません。「私自身の『見方』が変わった」からなんです。前はスマホの画面ばかり見ていて、どんな店があったのか、どんな木だったのか、そんな小さな景色にも気づきませんでした。でも今は、ひとつひとつの景色に目を向け、細かいところまで気がつくようになったのです。

もう一つ、私は大切なことに気づきました。「世界はずっと変わっていたのに、私は気づいていなかった」ということです。スマホの画面の向こう側では、毎日たくさんのニュースが流れています。それで「自分は世界のことを何でも知っている」つもりになっていました。もちろん、今でもスマホは大切な道具です。勉強にも使うし、友達とのつながりもくれます。しかし、ひとたび顔を上げてみれば、目の前にある「現実の世界」には、もっと面白くて、新しい発見がたくさんあるのです。

だから私は、これからもできるだけ画面を閉じて、現実の景色を“自分の目”で見たいと思います。空の青さ、風のおい、人々の表情——そうした小さな発見が、毎日をもっと特別なものにしてくれるからです。

みなさんも、今日の帰り道はスマホをポケットにしまって、少しだけ顔を上げてみてください。もしかしたら、今まで見過ごしていた“新しい世界”が、すぐそばにあるかもしれませんよ。

ご静聴ありがとうございました。

日本で失くしたもの、見つけたもの

レイ・ゲツセイ 愛媛大学【中国】



みなさん、こんにちは。私は中国から来た、黎月静と申します。よろしく申し上げます。本日は「日本で失くしたもの、見つけたもの」についてお話しします。

私が松山に来て最初に感じたのは、何かが足りないという気持ちでした。

中国では、スマホ一つで支払いも、友達との待ち合わせも、食事事の注文など、ほとんど何でもできました。それが、私にとっての当たり前でした。しかし、松山に来たら、中国での当たり前が通用しません。初めてコンビニに行った時に財布から小銭を探し、もたもたしながら支払っている自分がいました。そして、この街には、故郷のように活気にあふれた騒がしさはなく、松山の街の静けさに、少し寂しさを感じました。

しかし、私は時間が経つにつれて、失くしたものの向こう側に、新しい光が見えてきたということに気が始めました。

例えば、現金で支払いをする時に店員さんは、「おつりになります」と、お金をきちんと手渡ししてくれます。そのときの目と目を合わせる瞬間と温かい笑顔は、スマホの画面越しでは決して感じ取ることのできない、人と人とのつながりを感じさせてくれました。

もう一つの気付きは、電車での出来事です。先月、授業の課題に行き詰り、一人で悩んでいた時のことです。日本人は人に遠慮する文化があるので、私は心を閉ざしていました。そしたら、隣に座っていた日本人の友人が、「どうしたの？何かあったら、話してみよ。」と、さりげなく声をかけてくれました。その何気ない一言が、静かな電車の中にぽっと温かみを灯してくれました。私の胸に深く染み渡り、これまでの荷が下りたような安心感がありました。

日本で私が失くしたのは、形の上の便利さや賑やかさでした。その代わりに、人と人が心から触れ合う温かみを見つけました。

失くしたものは、実は、もっと深い価値のあるものを見つけるためのきっかけでした。日本での生活は、私に大切なことを教えてくれました。

以上です。ご清聴ありがとうございました。



カタカナのない世界で生きるとしたら

チン・ジュンホウ 愛媛大学【中国】

日本語を勉強し始めた中国人にとって、カタカナの勉強は本当に難しいことです。なぜなら、カタカナで書かれた単語は特別に暗記しなければいけません。もちろん、これらも漢字ではありません。私はよくこのように想像します。もし、日本語にカタカナがなかったら、世界はもっと良くなるのかな？それとも、もっと悪くなるのかな？

そしてある夜、私は夢を見ました。日本語には、本当にカタカナがなくなっていました。

朝、スマホを取り出して「ライン」のメッセージを確認しようとしたら、画面には大きく「線」と書かれています。「チューブ」の名前も「あなたの管」に変わっていました。

まだ眠いのかな？近くのコンビニに行ったら、いつも飲んでいる「コーヒー」が見つからなくなって、商品のラベルには漢字とひらがなしかありませんでした。え？これは日本語でしょうか？まあ、いいか！「コーヒー」がなくても、他のものを飲めばいいじゃないですか。これは何ですか？「乳酸菌を含む食品」って……字が小さくて、長い時間読んでやっと意味が分かりました。「ヨーグルト」ですね！

突然「線」というアプリでメッセージが届きました。「今日の約束、また遅刻しないでね」と書かれています。

え？いつも時間を守る私が、どうして急に遅刻なやつになったんですか？

「ごめんね、まだ眠いのかもかもしれないけど、どこで待ち合わせする約束だったかな？」

すると、彼女は返信してきました。「あの緑の便利店の前よ！」

「緑の便利店？ああ、セブンイレブンだね！分かった、すぐ行くね」と私が言いました。

結局、彼女はファミリーマートで待っていました。また遅刻してしまいました！カタカナのない世界は本当に嫌です……

悲しい気持ちで、私は目を覚ました。その瞬間、やっと分かりました。私たちがよく言う「ヨーグルト」「サンドイッチ」「ラーメン」は、もう日本語から離せない大切な言葉になりました。カタカナがなくなると、買い物をするだけでも、たくさんの時間をかけて説明しなければいけません。

急いで日本語の教科書を開くと、えーと、「ペン」「リンゴ」「ケーキ」のカタカナが見えました。こちらに書いた言葉は「スピーチコンテスト」ですね、見えます！本当によかったです！

カタカナは、英語からの「コンピューター」を受け入れられ、フランス語からの「レストラン」も受け入れられます。さらに、会場にいる留学生の皆さんにとっても、日本人が私たちの名前を正しく読めて、重要な発音記号になっています。

今日は、「カタカナのない世界」の夢を話せて、とても嬉しいです。これからも、カタカナを大切にしながら、日本語を勉強し続けたいと思います。

最後に、皆さんのご聴講、ありがとうございました！

犬との絆

セツサムパン・リンラダ 新居浜工業高等専門学校 【タイ】



私は小さいころから、ずっと犬と一緒に暮らしています。生まれたとき、家には四匹の犬がいました。「たくさん犬を飼うのは大変でしょう？」と言われる。確かに散歩や餌の時間を気にして犬に合わせる生活は大変ですが、いつも家族の話題には犬のことがありました。今日は私が犬と一緒に過ごすことで、学んだことを話したいと思います。

4匹の犬たちはみんな性格が違って、まるで家族のようでした。たとえば、一番年上の犬は静かでおだやかな性格でしたが、よく私のところに来て遊んでくれました。一番年下の犬はとても元気で、一日中走り回っていました。でも、ごはんの時間になると、四匹ともいっせいに走ってきて、とてもにぎやかでした。悲しいときも、楽しいときも、いつもそばにいてくれました。言葉は通じなくても、心はつながっていると思います。犬は私にとって、ただのペットではなく、家族の一員です。いつもそばにいてくれる、大切な存在です。

今、私は犬たちと離れて暮らしています。ときどき会えなくて寂しくなりますが、犬たちの写真を見ると

少し元気が出ます。早くまた一緒に遊びたいなと思います。犬と過ごした日々の中で、私はたくさんのことを学びました。思いやりやがまん、そして命の大切さです。

中でも、犬が病気になったときは本当に心配しました。そのとき、いつもはご飯を残さず食べる犬があまり食べなくなり、元気もありません。「どうしたの?」「どこが痛いの?」「少しでも食べようね」犬が話せないのは分かっているのに、声をかけずにはいられませんでした。私は心配で心配で、毎日犬の様子を見て、「早く元気になってほしい」と思っていました。言葉で伝えられない相手の痛みや辛さを理解してあげるには、どうすればいいのか方法もなく、ただ見守ることしかできませんでした。やさしく体をなでてあげると、犬は安心して眠り始めました。犬の寝顔を見ながら、思い出しました。私が悲しんでいた時も、犬たちがそばに来て、寄り添ってくれたこと。優しい気持ちが伝わってきて、心にしみたこと。今同じように、病気の犬に私の気持ちが伝わってればいいな、と思いました。この時ほど「誰かを助けたい」という気持ちを強く感じたことはありません。

この経験を通して、人にやさしくすることの大切さを知りました。一緒に過ごせなくなっても、犬たちから学んだことは、私の中に残っています。「一日一日を大切にすること」や「小さな幸せを見つけること」、それを教えてくれたのも、犬たちでした。犬が私を見つけて走ってくるだけで嬉しくなります。じゃれ合っているのを見て、家族で笑い合います。家族の笑顔や幸せの多くは犬からもらっているような気がします。

将来、私はまた犬たちと一緒に暮らしたいです。一緒に散歩をしたり、昼寝をしたり、そんな日々をもう一度過ごしたいと思います。離れていても、私と犬たちの絆は変わりません。これからもその気持ちを大切に生きていきたいです。犬たちは、私にとって家族であり、大切な存在です。会えない時間があるからこそ、その絆を強く感じます。これからも犬たちを思いながら、毎日を大切に生きていきたいです。



同じ檻に、違うライオンは共に生きられるのか？

ヒアン・シットング 弓削商船高等専門学校【カンボジア】

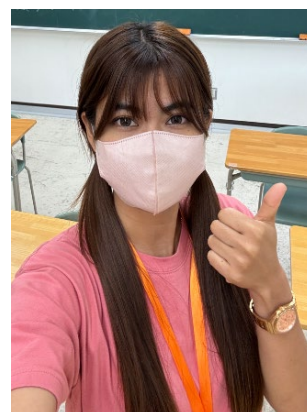
日本の首相が代わりました。カンボジアを発展させるためにはどうしたらいいか？僕が首相になる？今私は日本事情の授業で日本のルールや社会のしくみについて学んでいます。そのとき使っていた本のタイトルは「ライオン・イン・ザ・ケージ(檻の中のライオン)」です。日本という社会はまるでその本のように、ルールという檻の中で、みんなが秩序を守りながら生きていくように感じました。そして、その中で法の多いこと、そのためか日本人が真面目なこと。だから先生は今日も会場に来ています。みなさんは、日本のルールの多さにびっくりしたことがありますか？

日本では、時間を守ること、ごみを分けること、列に並ぶことなど、小さなことでもしっかり守ります。それはただの習慣ではなく、社会を支える力だと思います。みんなが同じルールを守るからこそ、電車は時間どおりに来て、町はきれいで、安全に生活できます。つまり、日本の発展はルールの力で支えられているのです。そして、日本の人々は、ルールを「自分を縛るもの」ではなく、「みんなが安心して生きるための約束」として大切にしています。

一方で、私の国カンボジアはどうでしょうか。カンボジアの人々は明るくてやさしいですが、ルールに対しては少しゆるいところがあります。たとえば、バイクに 5 人乗っても、ヘルメットをかぶらないことがよくあります。それでも多くの人は「まあいいか」と思ってしまいます。しかし、その「まあいいか」が積み重なると、社会の信頼や安全、そして秩序が少しずつ失われてしまいます。先生が小さいときは日本も 5 人乗りをしていたそうです。日本はこのことから何十年かで発展している証拠です。

私の国では、時々「ルールは政府のもの」「自分には関係ない」と思う人もいます。でも、本当はルールは国のためだけでなく、自分たちの生活を守るためのものなのです。この考え方が広がれば、もっとよい社会になると私は信じています。同じ檻に、違うライオンは一緒に暮らすことができません。なぜなら、その二頭のライオンは、それぞれ違う環境で育ってきたからです。日本とカンボジアも、少しそんな関係だと思えます。日本は長い時間をかけて、ルールと信頼の社会をつくってきました。先生が小さいときは日本も 5 人乗りをしていたそうです。そして発展しました。一方で、カンボジアは自由で、人とのつながりや思いやりを大切にしてきました。どちらも素晴らしいところがありますが、すこし発展が遅れているようです。同じ檻に入るのは少し難しいかもしれません。

でも、カンボジアは日本のすべてをまねる必要はありません。できるところから少しずつ、日本の良い仕組みを学んで取り入れていけばいいと思います。やさしさとまじめさのバランスを大切に、自分たちのペースで成長していくことが、本当の発展につながるのではないのでしょうか。日本は初の女性首相が誕生してさらなる進化も続けているようです。カンボジア独自の発展を目指して私は将来先頭に立ちたいです。



幸せ者

ス・モン・チョー 愛媛大学【ミャンマー】

みなさん、こんにちは。愛媛大学の社会共創学部で環境デザイン学科を学んでいるミャンマー出身のスモンチョーと申します。宜しくお願いします。

私のスピーチのテーマは「幸せ者」です。

みなさんは、自分のことを「幸せ者」だと思ったことがありますか？私は、日本に来る前はそう思いませんでした。私の国、ミャンマーでは、今も多くの人が不安や緊張の中で暮らしています。自由に外を歩けない日

があったり、明日の生活がどうなるのか分からなかったり、将来のことを考える余裕がない人も少なくありません。家族が安全に暮らせるか、明日も普通に生活できるのか。そんな“当たり前”が、当たり前ではない現実があります。

だからこそ、私は日本に来て初めて感じたことがあります。それは「平和がどれほど大きな幸せか」ということです。日本で生活するようになって、私は何度も驚くことがありました。電車が必ず時間通りに来ること、蛇口から出る水をそのまま飲めること、学校や病院、役所が整ったシステムで動き、安心して暮らせること。そして日本では、夜道を歩いても比較的安全で、家に帰る、学校に行く、仕事に行く — それだけで命の危険を感じることはほとんどありません。日本では当たり前と感じるこうした日常が、実は世界では決して当たり前ではありません。この“当たり前”の積み重ねが、どれほど贅沢で尊いことなのか、私は心から知りました。

日本での留学生活は簡単ではありませんでした。言葉の壁、文化の違い、アルバイトと勉強の両立。ときには泣きたくなるほど大変な日もありました。でも、その大変さの中にも「学べる幸せ」があります。わからない日本語を丁寧に教えてくれる友達。外国人の私にも平等に接してくれる先生たち。働くチャンスをくれる職場の人たち。そして安心して眠れる小さな部屋。ミャンマーから来た私は、こうした一つひとつを「私は本当に幸せなものだな」と感じます。

もちろん、日本でも忙しさやストレスはあります。疲れた時、しんどい時は周りの自然を感じ、小さなお花を見たり、青空を見上げたりすることで心が癒されます。そしてミャンマーにいる人々の生活を考えて私はここにいるだけでラッキーな人で幸せだと思いました。そんな小さな出来事の中に、たくさんの幸せがあると感じるようになりました。それでも、平和の中で安心して生活できるというだけで、人生は大きく変わります。日本で暮らすことで、私は「幸せとは贅沢なものではなく、日常の中に静かに存在するもの」だと気づきました。同時に、私はミャンマーにいる家族や友人にも、この平和を届けたいと強く思っています。いつか私の国にも、誰もが安心して未来を語れる日が来ることを願っています。

最後に、私は自分自身に言い聞かせています。「今の環境を当然だと思わないこと。感謝する心を忘れないこと。そして、学べる立場を未来への力に変えること。」ミャンマーの大変な現実を知っているからこそ、日本で学べる私は、本当に幸せ者です。これからは、誰かを「幸せな者」にできるような人になりたいです。ありがとうを素直に伝え、笑顔を大切に、まわりの人を明るくできるような存在になりたいと思います。そして今、私は本当に「幸せ者」だと思っています。なぜなら、私には支えてくれる人、笑い合える仲間、夢を応援してくれる家族がいる、そして今安全な所に暮らせているからです。それは、決して当たり前ではありません。これからその幸せを周りに分けていける人でありたいと思っています。

皆さんも、身のまわりを見つめて、自分の幸せに気づけるようになることを、心から願っています。

ご清聴ありがとうございました。

構成団体が主催又は後援した国際交流事業（令和6年4月～令和7年3月）

団体名 愛媛大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.3.28 R6.4.13	新入留学生オリエンテーション	日常生活のガイダンスを行うとともに、チューターや教職員との親睦を図る （協力：松山東署）	62
R6.4.6 R6.4.7	松山春まつり （松山青年会議所）	浴衣を着て、大名武者行列と一緒に城下町パレード	9
R6.5.23	国際交流 （松山東雲高等学校）	英語コース29名の高校2年生に母国のことを紹介	3
R6.6.9	砥部焼体験 （砥部ライオンズクラブ）	砥部焼のろくろと絵付けを体験する	7
R6.7～	コワーキングラウンジ （松山さかのうえ日本語学校）	国際コワーキングラウンジ講師およびTA	10
R6.7.20 R6.7.21 R6.7.22	E-TALK CAMP （松山市青少年育成市民会議）	中学生と旅行に必要な英会話を練習する	15
R6.8.6 R6.8.7	国際交流 （今治東中等教育学校）	国際理解セミナーとして参加学生と留学生が交流する	8
R6.9.26 R6.10.12	新入留学生オリエンテーション	日常生活のガイダンスを行うとともに、チューターや教職員との親睦を図る （協力：松山東署）	100
R6.10.24	国際交流 （松山北高等学校）	愛顔グローバル海外研究・英会話部の部員と共に文化祭を見学する	3
R6.11.7 R6.11.8	国際交流 （済美高等学校）	英語で出身国や文化等について紹介する	9
R6.11.20 R6.12.17 R7.2.9	国際交流 （宇和島東高等学校）	英語の授業で言語活動、理科の授業に参加	16
R6.11～	たずねけりコーヒー （松山さかのうえ日本語学校）	国際交流活動を掲げたコーヒースタンドにおける接客業務	5
R6.11.23	日本文化体験 （松山つばきライオンズクラブ）	座禅、生け花、抹茶、着付けを体験する	27
R6.11.30	愛媛の3大学留学生で行く 「おおみしま」バスツアー	愛媛大学、松山大学、聖カタリナ大学に在学する留学生が参加	29
R6.12.5	国際交流 （松山東雲高等学校）	英語コース29名の高校2年生に母国のことを紹介	3
R6.12.5	松山街歩き （株式会社クロスザボーダー）	修学旅行で他県から愛媛に来る高校2年生と英語を使って街歩き	15
R7.2.1 R7.2.8 R7.2.15 R7.2.22	えひめ愛ある食の市 （中国四国博報堂）	インフォメーションに在駐し、外国人観光客からの質問・相談に対応	2
R7.2.8	武道体験フェスタ （愛媛県スポーツ振興事業団）	外国人留学生・ALT向けの武道体験フェスタ	21
R7.3.28	新入留学生オリエンテーション	日常生活のガイダンスを行うとともに、チューターや教職員との親睦を図る （協力：松山東署）	25

団体名 松山大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.6.8	国際交流バスツアー in 大久野島(広島)	留学生および日本人学生による参加で、大久野島(広島)を訪問	9
R6.9.28	愛媛日英協会主催 英国留学報告会・懇親会	日本人学生の英国留学報告会へ参加し、本学学生、日英協会会員と留学生が交流をする	2
R6.11.4	松山市総合防災訓練 (松山市立味生小学校)	松山市総合防災訓練に参加	2
R6.11.9~10	国際交流バスツアー in 京都	留学生および日本人学生による参加で、1泊2日で京都を訪問	10
R6.11.11	国際交流(松山市立久米小学校)	3年生の授業において、留学生の母国や文化を紹介する	1
R6.11.30	愛媛の3大学留学生で行く 「おおみしま」バスツアー	愛媛大学、松山大学、聖カタリナ大学に在学する留学生が参加	1
R6.12.5	留学生とのスポーツ交流会	留学生および日本人学生による参加で、学内でバドミントン大会を開催	9
R6.12.8	留学生にほんご弁論大会 in 愛媛	松山湯築ライオンズクラブ主催のコンテストに参加(湯築L.C.会長賞を受賞)	2
R6.12.15	留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛	愛媛県留学生等交流推進会議主催のコンテストに参加(特別賞・エフナン南海放送リスナー賞のW受賞)	1

団体名 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.4.4	外国人留学生説明会	日常生活についての説明、諸注意。	13
R6.8.7~8.10	愛媛県と台湾・国立嘉義大学との交流事業	令和5年10月に台湾・嘉義市と締結した「愛媛県と嘉義市とのスポーツ・文化・観光交流促進に関する覚書」に基づいて国立嘉義大学が来県し、県内大学の野球部学生と交流。本学の台湾人留学生が通訳として参加。	1
R6.10.23	愛媛県観光物産協会と台湾訪日教育旅行関係者との交流会	交流会の通訳として本学の留学生が参加。	1
R6.11.1 R6.11.2	松山市立東中学校の授業と文化祭 台湾台北市の介壽中学校との交流	松山市教育委員会より友好交流推進員に任命された本学の留学生が生徒と交流及び通訳として参加。	2
R6.11.30	愛媛の3大学留学生で行く 「おおみしま」バスツアー	愛媛大学、松山大学、聖カタリナ大学に在学する留学生が参加。	7
R6.12.2	台北市と松山市の小学校の友好交流事業	松山市教育委員会より友好交流推進員に任命された本学の留学生が、松山市立湯築小学校で児童向けに台湾についてのプレゼンを行い交流事業に参加。	2

団体名 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.6.25	国際交流フレンドシップ制度活動	中国の協定校から来た短期交流学生との異文化交流(キャンパスライフ)	2
R6.6.29		中国の協定校から来た短期交流学生との異文化交流(松山市の文化)	2
R6.7.4		中国の協定校から来た短期交流学生との異文化交流(松山滞在日記発表)	2

団体名 今治明德短期大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.4	半島四国八十八か所ウォーキング	お遍路イベントに参加。地域住民との交流を深めた。	8
R6.8	今治市夏祭り「おんまく」	今治市民の祭り「おんまく」にておんまく踊り連に参加する。	18
R6.11	小学校異文化理解授業	今治市立別宮小学校において国の文化を紹介し、児童と交流を深める。	2
R6.12	留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛	愛媛県留学生等交流推進会議主催のコンテストに参加。	1

団体名 新居浜工業高等専門学校

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.6.21	留学生母国紹介・交流会	本校に在籍する外国人留学生を日本人学生や教職員、地域の国際交流団体関係者に紹介するとともに、留学生の母国についても紹介することで、相互理解と友好を深めることを目的として開催した。	7
R6.12.7-8	令和6年度外国人留学生研修旅行	外国人留学生に日本の文化や歴史を学んでもらうとともに、日頃、留学生の学校生活をサポートしている学生チューターとの交流を活発にすることを目的に、広島で研修旅行を実施した。	2
R6.12.15	留学生日本語スピーチコンテスト	愛媛県留学生等交流推進会議が主催する日本語スピーチコンテストに参加し、スピーチを行った。	2
R6.12.22	四国地区高専総合文化祭	四国地区5高専（6キャンパス）の留学生が紹介コーナー等を設け、他高専学生との交流を深めた。	7

団体名 弓削商船高等専門学校

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.12.15	留学生日本語スピーチコンテスト	愛媛県留学生等交流推進会議が主催する日本語スピーチコンテストに参加した。 (4名全員が優秀賞等の各賞を受賞した。)	4
R6.12.22	学校の枠を超えた外国人留学生の交流活動	文化的活動を通じて日本文化の理解を深めるとともに、四国地区高専の外国人留学生の交流を推進する。	3
R7.2.13~14	外国人留学生実地旅行	外国人留学生が、日本の文化や歴史に触れる機会を設け、日本に対する理解を深めてもらうことを目的に、大阪城などを訪問した。	2

団体名 愛媛県

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.5.18~7.31	愛媛・ハワイ交流事業	本県と姉妹提携を締結しているアメリカ合衆国・ハワイ州と相互理解を深め、交流の基礎となる次世代人材の育成を図るため、ハワイの大学に在籍する日英語が堪能な学生をインターン生として受け入れることで、本県とハワイ州の友好親善及び一層の関係強化を図る。	2

団体名 松山市

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.8.3~5	第38回愛媛国際交流サマースクール in 砥部町2024	子ども達へ国際交流の場を提供するキャンプを後援。主催：郷土愛媛と国際社会を考える会	6

団体名 新居浜市

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.7.3	台湾国立聯合大学、台湾文藻外語大学の学生受け入れに伴う市長表敬訪問	新居浜高専が受け入れた台湾国立聯合大学、台湾文藻外語大学の学生による市長表敬訪問	8
R6.7.7	七夕パーティー	在留外国人等を対象とした日本文化紹介イベント（浴衣等を着用）	10
R6.7.23	韓国永進専門大学校の学生受け入れに伴う市長表敬訪問	新居浜高専が受け入れた韓国永進専門大学校の学生による市長表敬訪問	5
R6.8.21	JICA地域理解プログラム	国際交流協会が受託した四国の大学院で学ぶ開発途上国から来た長期研修員を対象とした研修	12
R6.10.8	タイ高専の学生受け入れに伴う市長表敬訪問	新居浜高専が受け入れたタイ高専の学生による市長表敬訪問	22
R6.12.16	雲林科技大学の学生受け入れに伴う市長表敬訪問	新居浜高専が受け入れた雲林科技大学の学生による市長表敬訪問	2
R7.2.9	第33回新居浜グローバルパーティー	グローバルパーティーを楽しもう会・SGG新居浜が主催する国際交流イベント	2

団体名 砥部町

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.8.3~8.5	砥部町国際交流サマースクール2024	言葉や文化の違いを越えて交流することにより、違った物に対する偏見をなくし、広い視野を持った心豊かな子ども達を育成し、国際理解を促進し、人や自然に対する思いやりを持った、やさしい人間性豊かな若きリーダーを育成することを目的とする。	6
R5.10.29 R5.11.23 R6.6.23	国際交流デイキャンプ	町内の小学生児童を対象に、子供たちの国際感覚を養い視野を広げると主に、外国人留学生との交流と親睦を深めることを目的に留学生やボランティアリーダーと交流を深める。	計36

団体名 公益財団法人愛媛県国際交流協会

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.7月～10月	令和6年度外国人日本語学習支援事業	交通事情から身近に日本語学習の機会を得ることができない在県外国人に対するオンラインを中心とした日本語学習支援事業（ICT補助として参加）	1
R6.10月～12月	令和6年度外国人のための生活の日本語教室（前期）	日本語教室に通うことが困難な外国人等を対象に、生活場面で必要となる日本語の基礎講座をオンラインで実施。	6
R7.1月～3月	令和6年度外国人のための生活の日本語教室（後期）	日本語教室に通うことが困難な外国人等を対象に、生活場面で必要となる日本語の基礎講座をオンラインで実施。	10

団体名 公益財団法人松山国際交流協会

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R5.10月～R6.8月	外国語としての日本語教室	日常生活に必要なレベルの日本語を習得してもらうため、入門から初級の日本語教室を開催。	29
R5.11月～R6.8月	ホームビジットによる交流 My Matsuyama Family	松山に来て間もない留学生と、松山の家庭をマッチングし、宿泊を伴わないホームビジットによる交流を通して「松山の家族」を作ってもらう事業。	30
R6.7.21	国際交流サロン	市民が世界の様々な文化・生活などを知る機会を提供。 ハワイについての文化紹介。	4
R6.6月	中学生海外派遣	市内在住の中学生を姉妹・友好都市へ派遣するため、事前研修の講師として。	1
R6.10月～R7.3月	外国語としての日本語教室	日常生活に必要なレベルの日本語を習得してもらうため、入門から初級の日本語教室を開催。	3
R6.11月～R7.3月	ホームビジットによる交流 My Matsuyama Family	松山に来て間もない留学生と、松山の家庭をマッチングし、宿泊を伴わないホームビジットによる交流を通して「松山の家族」を作ってもらう事業。	16
R6.11.24	地球人まつり@まつやま花園日曜日	愛媛県国際交流協会との共催で実施している市民と外国人市民交流イベントを、花園日曜日に出展する形で開催。	3
R6.9.6	国際交流サロン	市民が世界の様々な文化・生活などを知る機会を提供。 松山訪問中の大学生との交流	3
R6.11月～R7.2月	中学生世界体験プロジェクト	中学生海外派遣に参加を希望する生徒を対象に、外国人市民や国際交流関係団体の協力を得て、国際交流や異文化体験の機会を提供。	6
R7.2月	大学生海外派遣	市内の大学生を友好交流都市である台北市（台湾）へ派遣するため、事前研修の講師として。	1
R7.2月	国際交流サロン	市民が世界の様々な文化・生活などを知る機会を提供。	3

団体名 愛媛県ユネスコ連絡協議会

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.4.27	(今治ユネスコ協会) 半島四国八十八か所ウォーキング	今治明德短期大学と共催して、お遍路イベントに参加し、地域の方との交流を深めた。	20
R6.7.7	(松山ユネスコ協会) グローバル井戸端会議「あなたの願い私の願い」	渡航経験を発表し、グローバル社会に向けて、若者が選択肢を増やすきっかけを作る。	3

団体名 南海放送株式会社

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
R6.12.15	第21回留学生日本語スピーチコンテスト in愛媛 2024	コンテストの企画・運営 コンテストの様様を南海放送ラジオ、ホームページ (Youtube) および愛媛CATVで生放送	16

愛媛県内高等教育機関における外国人留学生受入状況

令和7年5月1日現在

機関等 国籍	愛媛大学	松山大学	聖カタリナ 大学	聖カタリナ 大学 短期大学部	松山東雲 女子大学	松山東雲 短期大学	今治明德 短期大学	愛媛県立 医療技術 大学	新居浜 工業高等 専門学校	弓削商船 高等専門 学校	合 計
アメリカ	2										2
アルジェリア	3										3
アルメニア	1										1
イスラエル	1										1
イギリス		1									1
インド	1										1
インドネシア	37						5		1	1	44
エスワティニ	1										1
エチオピア	1										1
ガーナ	1										1
カナダ	1										1
ガボン	1										1
韓国	11	1									12
カンボジア										1	1
キリバス	1										1
ケニア	1										1
コロンビア	1										1
コンゴ	1										1
ザンビア	2										2
スイス	1										1
スリランカ							3				3
タイ	8								4	1	13
台湾	7		11								18
タンザニア	1										1
中国	69	9					28				106
中国（香港）	1										1
ドイツ		1									1
ドミニカ	1										1
ナイジェリア	2										2
ニジェール	1										1
ネパール	9						73				82

機関等 国籍	愛媛大学	松山大学	聖カタリナ 大学	聖カタリナ 大学 短期大学部	松山東雲 女子大学	松山東雲 短期大学	今治明德 短期大学	愛媛県立 医療技術 大学	新居浜 工業高等 専門学校	弓削商船 高等専門 学校	合 計
ノルウェー	2										2
パキスタン	4										4
バングラデシュ	6										6
フィリピン	6										6
ブラジル	1										1
フランス	1										1
ブルンジ	1										1
ベトナム	3	1					4				8
ポーランド		1									1
マラウイ	1										1
マリ	1										1
マレーシア	3									1	4
ミャンマー	2	1					53		1		57
メキシコ	1										1
モザンビーク	1										1
モンゴル	1								1	1	3
ラオス	1								1		2
ルーマニア	1										1
合 計	203	15	11	0	0	0	166	0	8	5	408

(参考) 外国人留学生在籍状況調査について

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページ URL :

<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/zaiseki/index.html>

下記データにつきましては、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページに掲載の「外国人留学生在籍状況調査」の各年度調査結果をご参照ください。

1. 留学生受入れの概況
 - (1) 留学生総数
 - (2) 在学段階別留学生数
 - (3) 国地域別留学生数上位5か国
2. 留学生数の推移(各年5月1日現在)
3. 大学院・大学(学部)・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)・準備教育課程・日本語教育機関における留学生数の推移(各年5月1日現在)

愛媛県留学生等交流推進会議規約

(名称)

第1条 本会は、愛媛県留学生等交流推進会議（以下「推進会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 推進会議は、愛媛県における外国人留学生等（以下「留学生等」という。）の受入れ及び地域社会との交流に関する諸方策を協議し、もって国際交流の推進に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 推進会議は、前条の目的を達成するために、次の事項について協議する。

- (1) 留学生等の受入れの推進
- (2) 留学生等の教育及び生活環境の整備
- (3) 留学生等と地域社会との交流の促進
- (4) 地域社会に対する啓発
- (5) その他推進会議の目的達成に必要な事項

(構成)

第4条 推進会議は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 県内に所在する大学、短期大学及び高等専門学校の長
- (2) 県内に所在する国の機関及び地方公共団体並びに経済団体及び国際交流関係団体等の長又は代表者各1名
- (3) 愛媛大学国際連携推進機構長
- (4) 学識経験者若干名

(会費)

第5条 推進会議は、構成機関・団体のうち、留学生が在籍する教育機関から、前年度10月1日現在の在籍留学生数に応じた会費を徴収する。

(役員)

第6条 推進会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 1名

(役員の仕事)

第7条 会長は、推進会議を代表し、会務を統括する。

- 2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故等があるときは、その職務を代行する。
- 4 監事は、会議の業務及び財産の状況を監査する。

(役員を選任)

第8条 会長は、愛媛大学長をもって充てる。

2 副会長は、愛媛大学国際連携推進機構長をもって充てる。

3 監事は、構成員の中から選任し、会長が委嘱する。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とし、総会から総会までの間とする。但し、再任は妨げない。

2 役員は、任期途中に何らかの理由により職務を果たせなくなったときは、当該役員の所属する構成機関・団体の組織上の後任者に役員職を引き継ぐこととし、その任期は前任者の残任期間とする。

(顧問)

第10条 推進会議に顧問を若干名おくことができる。

2 顧問は、推進会議の議を経て会長が委嘱する。

3 顧問は、推進会議の運営及び事業に関し、必要な助言を行う。

(構成員以外の出席)

第11条 会長が必要と認めるときは構成員以外の者を会議に出席させることができる。

(運営委員会)

第12条 推進会議の円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

2 運営委員会は、第4条第1号及び第2号に掲げる機関・団体等の実務担当責任者のうちから、会長が委嘱する者をもって組織する。

3 運営委員会に委員長を置き、愛媛大学国際連携推進機構長をもって充てる。

4 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

5 運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

(事務局)

第13条 推進会議の事務局は、愛媛大学国際連携支援部国際連携課に置き、推進会議の事務を行う。

(会計)

第14条 推進会議の経費は、会費、その他によって賄う。

2 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

3 前項の会計年度に係る決算終了後、監事による監査を経て、総会にて決算報告を行う。

(雑則)

第15条 この規約に定めるもののほか、推進会議の運営に関し、必要な事項は推進会議が定める。

附則 この規約は、平成2年7月12日から施行する。

附則 この規約は、平成11年11月26日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附則 この規約は、平成14年11月15日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

附則 この規約は、平成16年11月16日から施行する。

附則 この規約は、平成18年10月25日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附則 この規約は、平成21年10月29日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附則 この規約は、令和4年4月1日から施行する。

附則 この規約は、令和4年11月25日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

愛媛県留学生等交流推進会議構成員名簿

令和7年7月1日現在

機関・団体名		代表者	氏名	規約
会長	愛媛大学	学長	仁科 弘重	第4条第1項 第8条第1項
副会長	愛媛大学	国際連携推進機構長	光信 一宏	第4条第3項 第8条第2項
監事	公益財団法人松山国際交流協会	理事長	河原 成紀	第4条第2項 第8条第3項
教育機関	松山大学	学長	池上 真人	第4条第1号
	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	学長	坂原 明	
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	学長	水代 仁	
	今治明德短期大学	学長	泉 浩徳	
	愛媛県立医療技術大学	学長	安川 正貴	
	新居浜工業高等専門学校	校長	東海 明宏	
	弓削商船高等専門学校	校長	内田 誠	
国・地方 公共団体	国立大洲青少年交流の家	所長	中尾 治司	第4条第2号
	高松出入国在留管理局松山出張所	所長	幸 英男	
	愛媛県	知事	中村 時広	
	愛媛県教育委員会	教育長	高岡 哲也	
	愛媛県市長会	会長（西予市長）	管家 一夫	
	松山市	市長	野志 克仁	
	新居浜市	市長	古川 拓哉	
	今治市	市長	徳永 繁樹	
	宇和島市	市長	岡原 文彰	
	東温市	市長	加藤 章	
	愛媛県町村会	会長（伊方町長）	高門 清彦	
	上島町	町長	上村 俊之	
	砥部町	町長	古谷 崇洋	
経済団体	愛媛県商工会議所連合会	会頭	高橋 祐二	第4条第2号
	愛媛県商工会連合会	会長	渡部 英志	
	愛媛県中小企業団体中央会	会長	服部 正	
	愛媛経済同友会	代表幹事	山口 普 大西 康司	
国際交流 関係団体等	公益財団法人愛媛県国際交流協会	理事長	本田 元広	第4条第2号
	愛媛県海外協会	会長理事	山本 良文	
	公益社団法人日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会	会長	近藤 史教	
	松山東ロータリークラブ	会長	村上 博英	
	松山中央ライオンズクラブ	会長	河本 圭仁	
	愛媛県ユネスコ連絡協議会	会長	土居 英雄	
	一般社団法人愛媛県医師会	会長	村上 博	
	株式会社 愛媛新聞社	代表取締役社長	加藤 令史	
	株式会社 テレビ愛媛	代表取締役社長	西岡 征治	
	南海放送株式会社	代表取締役社長	大西 康司	
	日本放送協会 松山放送局	局長	田中 誠一	

愛媛県留学生等交流推進会議運営委員会委員名簿

令和7年7月1日現在

機関 ・ 団体名	職名	氏名	
教育機関	愛媛大学	国際連携推進機構長	光信 一宏 (委員長)
	松山大学	学生部国際交流課 課長	高橋 淳子
	聖カタリナ大学 聖カタリナ大学短期大学部	学生支援課長	和田 真佐子
	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	学生支援課長	木下 智美
	新居浜工業高等専門学校	グローバル教育センター 副センター長	平田 隆一郎
国 ・ 地方 公共団体	愛媛県	愛媛県観光スポーツ文化部 観光交流局観光国際課長	村上 暢章
	愛媛県市長会	事務局長	武智 茂記
	松山市	観光・国際交流課 国際交流担当課長	喜安 祥隆
	愛媛県町村会	事務局長	向井 政明
経済団体	愛媛県商工会議所連合会	専務理事	福井 琴樹
	愛媛経済同友会	事務局長	川平 明生
国際交流 関係団体 等	公益財団法人愛媛県国際交流協会	専務理事	山中 美幸
	公益財団法人松山国際交流協会	事務局長	富田 定伸
	公益社団法人日本青年会議所 四国地区愛媛ブロック協議会	会長	近藤 史教
	松山東ロータリークラブ	会長	村上 博英
	松山中央ライオンズクラブ	会長	河本 圭仁



愛媛県留学生等交流推進会議事務局

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学国際連携支援部国際連携課
TEL 089-927-9162 FAX 089-927-8967